



園庭の看板



ひまわり

園庭の土地を購入して、数年がたちました。みんなで一生懸命砂場を掘った思い出や遊具をどうするか考えた結果、公共の公園にあるような巨大プラスチック遊具は、自然との共存はできないし、こむぎに合っていない!と。そこでいつもお願いしている家具屋さん、丸太や小屋、看板、鉄棒までお願いして、木の遊具を納入して頂きました。

そして、そしてはじめての野菜づくり。じゃがいもを1年目は植え、2、3年目は「焼き芋をしたい」となり、さつまいもを子ども達と植えました。そして4年目の今年、新型コロナウイルスにより、せっかく耕して準備し、花壇の枠までつくったのですが、4月から何も植えられずに数か月が過ぎました。

そこで、毎年福島県の授産施設が植えられなくなった「ひまわりの種」を全国の協力施設に送り、育て、また種を送り返し、油を搾って販売するプロジェクトにこむぎも数年参加。去年も植えました、今年は園芸係の腕もあがり、太く背の高い立派なひまわりができました。ありがとう。そしてお疲れ様でした。



園舎の脇にも植えました。土と日当たりの関係からか、かわいいひまわりが育ち、笑顔をたくさんふりまっています。

コロナも吹き飛ぶ晩夏。

秋が待ち遠しい季節。まだまだ残暑厳しき折ではありますが、お体ご自愛頂き、健康に過ごされることを願っています。